

平成 28 年度事業報告書

I. 事業の概要

6 年制薬学教育が平成 18 年度に導入されて以来今日まで、薬剤師養成のための薬学教育が行われる一方、平成 25 年度改訂モデル・コアカリキュラムに基づく薬学教育が平成 27 年度から進められる中、平成 31 年度から始まる実務実習の円滑な実施に向けて、協会と各大学が連携して取り組んでいるところである。

この間、実務実習、薬学共用試験及び薬学教育第三者評価の実施等様々な課題について、日本私立薬科大学協会（以下「協会」という。）の理事会、総会及び各種委員会を中心に検討を行うと共に、全国薬科大学長・薬学部長会議及び文部科学省及び厚生労働省等の調査等に対応したところである。

なお、平成 28 年 6 月 7 日開催の第 1 回通常総会において新役員等が決定し、新しい体制の下で本協会の充実・発展に取り組んだところである。

個々の事業内容については以下のとおりである。

1. 教育、研究に関する調査研究

(1) 教育、研究体制等の整備について

薬学教育 6 年制に関する諸問題（実務実習、実務実習費等）について、調査・検討を行った。

また、全国薬科大学長・薬学部長会議、薬学教育協議会、薬学共用試験センター及び薬学教育評価機構等との情報共有を図った。

(2) 実務実習について

平成 28 年度は 7 回目となる実務実習の実施となった。本年度も実務実習に関する諸問題について検討を行うと共に、協会としての課題等について検討を行った。

特に、平成 31 年度から始まる改訂モデル・コアカリキュラムに準拠した実務実習の取り組み状況をまとめ、第 7 回「薬学実務実習に関する連絡会議」へ報告した。

また、実務実習に関し、全国共通の「実務実習実施計画書」の作成について、薬学教育協議会へ要望した。

このほか平成 27 年度実務実習実態調査を実施する共に、その結果を踏まえ、薬学教育協議会で検討することとなった。

(3) 薬学共用試験について

平成 28 年度は 8 回目となる薬学共用試験の実施となった。

また、薬学共用試験(CBT、OSCE)の実施状況及び薬学共用試験の課題等について報告を受け、協会として検討し了承した。

(4) 薬学教育第三者評価について

薬学教育評価機構の活動状況、平成 28 年度評価対象 11 大学の評価実施、平成 30 年度評価対象大学 (13 大学) 及び平成 31 年度評価対象大学 (13 大学) の決定等について報告を受け、協会として検討し了承した。

(5) 薬剤師国家試験問題に関する調査・検討について

第 101 回薬剤師国家試験 (平成 28 年 2 月 27 日・28 日実施) を受けて、当協会の検討 7 部会 (「物理・化学・生物」、「衛生」、「薬理」、「薬剤」、「病態・薬物治療」、「法規・制度・倫理」、「実務」) の検討結果を踏まえ、薬剤師国家試験問題検討委員会で調査検討を行い、協会会長名で報告書を厚生労働省へ提出した。(平成 28 年 6 月 30 日付)

また、厚生労働省医道審議会「薬剤師国家試験事後評価部会」において、当協会の薬剤師国家試験問題検討委員会の中から 2 名の推薦を受け、同事後評価部会 (平成 28 年 7 月 25 日開催) で参考人として意見を述べた。

2. 協会の管理運営等

(1) 任期満了に伴う役員を選任について

任期満了に伴う理事等役員を選任については、各種規程に基づく手続きにより平成 28 年 6 月 7 日開催の平成 28 年度第 1 回通常総会において選任された。

(2) 平成 27 年度事業報告、決算・監査報告について

平成 27 年度事業報告及び決算・監査報告については、平成 28 年 4 月 26 日の監事監査を受け、平成 28 年 6 月 7 日開催の第 1 回通常総会で承認された。

(3) 平成 29 年度事業計画、収支予算について

平成 29 年度事業計画及び収支予算については、平成 28 年 11 月 29 日開催の第 2 回通常総会において承認された。

(4) 教育賞の授与について

毎年度、薬学教育に多大な貢献をし、薬学教育の進歩発展に特に功績のあった者に対し日本私立薬科大学協会教育賞を授与しているが、本年度は 2 名を選考し教育賞を授与した。

(5) 学生の入学定員及び入学者数の取扱いについて

今後の学生入学定員の遵守について協議した結果、昨年同様、「入学定員と入学者数が等しくなるよう、厳正な定員管理を徹底する」ことを申し合わせた。

また、入学者数が入学定員の 1.1 倍以上の大学については、入学定員超過の理由及び今後の対応等について協会宛に文書が提出された。

(6) 各種調査資料の作成について

例年通り、学生・教職員数、学生納付金、入学志願者の動向、卒業生の就職状況、卒後研修等の実態調査を実施すると共に、平成 28 年度は新たに卒業延期の状況等を調査し、協会及び各大学の検討・参考資料とした。

なお、学校法人の管理運営に関する法人役員の勤務形態等について、「学校法人問題検討委員会」で検討を行った結果、調査の実施については引き続きの検討課題となった。

(7) 会報（「日本私立薬科大学協会だより」）の刊行について

事業活動状況（諸会議議事録、各種調査結果等）、事業計画・報告、収支予算・決算及び大学紹介等の内容を掲載し、年 2 回各大学へ配布した。

(8) 広報活動について

6 年制薬学教育への理解及び普及を図るため、昨年度に引き続き「6 年制薬学ガイド 2017」を刊行し、全国の高校及び予備校へ配布すると共に、関係団体等にも送付した。

3. その他

日本私立薬科大学協会設立 40 周年記念事業の取り扱いについて

当協会は平成 29 年度に設立 40 周年を迎えることから、記念事業の取り扱いについては、過去の例に倣い平成 29 年度に実施することとなった。

具体的には「40 周年記念事業準備委員会」のもとで、40 周年記念誌の編集等について検討を行った。

[参 考]

(講演会)

- ・平成 28 年 11 月 29 日(火)開催 ～ 川上 純一先生(浜松医科大学医学部 附属病院薬剤部、教授・薬剤部長) による講演

(テーマ) 「病院・薬剤師の将来展望」：平成 28 年度診療報酬改定等を踏まえて

(文部科学省、厚生労働省関係会議)

- ・第 7 回「薬学実務実習に関する連絡会議」(平成 28 年 11 月 30 日開催)が、文科省で開催され、平成 31 年度から実施する改訂モデル・コアカリキュラムに準拠した実務実習の実施に向けた各団体の取組状況の報告及び来年度以降に向けた取組について協議が行われた。

これを受けて、同連絡会議の決定事項について各大学に報告した。

- ・第 16 回「新薬剤師養成問題懇談会」(新六者懇) (平成 28 年 12 月 20 日開催) が厚労省で開催され、第 7 回「薬学実務実習に関する連絡会議」の報告及び 6 年制薬学教育の課題等について協議が行われた。

(「日本薬学教育学会」の設立総会)

- ・「日本薬学教育学会」の設立総会及び第 1 回大会が、平成 28 年 8 月 27・28 日の両日、京都薬科大学で開催された。

Ⅱ. 諸会議開催状況

会議名	開催月日		開催場所
(理事会)			
第31回 理事会	28. 5. 17	(火)	アルカディア市ヶ谷
第32回 理事会	28. 6. 7	(火)	〃
第33回 理事会 (新理事会)	28. 6. 7	(火)	〃
第34回 理事会	28. 7. 5	(火)	スクワール麹町
第1回 常務理事会	28. 9. 27	(火)	アルカディア市ヶ谷
第35回 理事会	28. 9. 27	(火)	〃
第36回 理事会	28. 11. 8	(火)	〃
第37回 理事会	28. 11. 29	(火)	東京ガーデンパレス
第38回 理事会	29. 3. 7	(火)	アルカディア市ヶ谷
(総会)			
平成28年度第1回 通常総会	28. 6. 7	(火)	アルカディア市ヶ谷
平成28年度第2回 通常総会	28. 11. 29	(火)	東京ガーデンパレス

Ⅲ. 各種委員会開催状況

委員会名	開催月日等		開催場所
部局長会議			
第35回 事務局長会議	28. 7. 15	(金)	ヒルトン東京お台場
第36回 学生部長会議	28. 11. 25	(金)	ホテルメトロポリタン盛岡
第36回 教務部長会議	28. 12. 2	(金)	ホテルメリージュ延岡
薬剤師国家試験問題検討委員会			
薬剤部会	28. 5. 7	(土)	帝京大学薬学部
法規・制度・倫理部会	28. 5. 7	(土)	徳島文理大学薬学部
実務部会	28. 5. 7	(土)	近畿大学薬学部
物理・化学・生物部会	28. 5. 14	(土)	東北医科薬科大学
衛生部会	28. 5. 14	(土)	アルカディア市ヶ谷
薬理部会	28. 5. 14	(土)	T K P 市ヶ谷カンファレンスセンター
病態・薬物治療部会	28. 5. 14	(土)	神戸学院大学ポートアイランドキャンパス
第1回薬剤師国家試験問題検討委員会	28. 6. 10	(金)	アルカディア市ヶ谷
教育賞受賞者選考委員会			
第1回 受賞者選考委員会	28. 7. 5	(火)	スクワール麴町
第2回 受賞者選考委員会	28. 11. 8	(火)	アルカディア市ヶ谷
広報誌編集委員会			
第1回 編集委員会	28. 12. 13	(火)	薬科大学協会事務局
第2回 編集委員会	29. 1. 16	(月)	〃
第3回 編集委員会	29. 3. 14	(火)	〃
第1回拡大実務実習検討委員会	28. 9. 5	(月)	〃
第1回学校法人問題検討委員会	28. 9. 27	(火)	アルカディア市ヶ谷
40周年記念事業準備委員会			
第1回 準備委員会	28. 11. 4	(金)	薬科大学協会事務局
第2回 準備委員会	29. 1. 24	(火)	〃

IV. 調査実施項目（調査対象：薬科大学・薬学部）

1. 平成 27 年度 卒後教育実施状況調
2. 平成 27 年度 卒業生進路調（平成 28 年 3 月卒業生）
3. 平成 27 年度 大学院修了者進路調（平成 28 年 3 月修了者）
4. 平成 27 年度 実務実習実態調査
5. 平成 28 年度 入学志願者動向調（志願者、合格者、入学者等）
6. 平成 28 年度 学部入学志願者数等調
7. 平成 28 年度 大学院入学志願者数等調
8. 平成 28 年度 入学定員及び入学者数調
9. 平成 28 年度 学生数調（学部学生・大学院生）（平成 28 年 5 月 1 日現在）
10. 平成 28 年度 専任教員及び職員数調（平成 28 年 5 月 1 日現在）
11. 平成 28 年度 在学生（3 年生）出身校都道府県別調（平成 28 年 6 月 1 日現在）
12. 平成 29 年度 学部学生納付金調
13. 平成 29 年度 大学院生納付金調
14. 6 年制薬学部薬学科（平成 27 年度卒業生）の進級・卒業等の状況調査（新規）